

平成 25 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 横浜市シルバー人材センター

概 況

平成25年度、横浜市シルバー人材センターは「公益財団法人」として2年目となり、より一層の公益的な事業を推進するものとして、センターの基本指針である「基本計画2016」（第2期）と横浜市の「第3期協約」との整合を図りながら、地域貢献的な受注の確保・拡大や会員増強等に積極的に取り組みました。

平成25年度の契約実績は、景気・雇用情勢に回復の期待と兆しが上向きはじめ、公共と民間企業での受注増を反映し、対前年度比5.5%と大幅な増加となりました。

年度当初は、引き続き、厳しい状況が予測されていましたが、公共・外郭団体については、広報配布体制を整備強化し、選挙公報配布業務等を受託したことや指定管理者等への積極的な会員就業確保等を図りました。

民間企業からの発注ニーズに対しては、迅速、かつ適正・的確な受注対応を図るとともに、個人家庭については、家庭内での多様な就業に応えるため、適切な人材提供等に努めてまいりました。

また、地域貢献活動の一環として、新たに高齢者世帯を対象とした概ね60分以内で完了できる家事簡易サービス「通称：よこはまシルバー架け橋サービス」を一部地域で25年10月から開始しました。

このように、前年度から取り組んだ「課題対応プロジェクト」の検討結果を、日常的な事業遂行の中で、実践行動に反映することに努め、新規事業スタートをはじめ適正・安全な就業機会の提供拡大や質的向上等に繋げました。

また、効率的な執行体制の維持や経費節減に欠かせない新しい業務システム更新に向けた「職員プロジェクト」も新たに立ち上げ、本年6月の本格稼働に向け取り組んだほか、会員同士の自主的な事業運営（独自事業）への支援にも試行的に取り組んでいます。

「生涯現役社会」の実現に向けて、高齢者が地域社会の支え手として、元気に活動していくことが求められています。

今後、さらなる地域貢献的な事業を推進するため、団塊の世代を含めた高齢者の様々なニーズに対応した働き方等の支援を行い、公益目的の実現に向けた「高齢者の生きがいの充実と福祉の増進」「活力ある地域社会づくり」について、積極的な事業の展開を図り、シルバー人材センターに求められる役割・使命の重要性を十分認識し、果たしてまいります。

1 事業実績

(1) 会員数

平成25年度は、一部の業種・職種による景気・雇用状況等の改善の兆しと会員増強を図った結果、25年度末の登録会員数は10,295人（事務所間入退会異動者38人含む）となり、年度当初の10,037人から258人の増加となりました。

新規登録された会員数は2,317人で、前年度の2,128人に比べ189人（+8.8%）の増加となりました。広報よこはま区版への会員募集広告掲載のほか、会員が不足している地域・職種を中心に、チラシ等配布を行い、会員増強を図りました。

なお、登録会員に占める女性会員の割合は、入会促進等を図った結果、24年度と比べ0.9ポイント増加し、32.9%となりました。

センターへの入会動機では、「経済的理由」が33.8%と多く、順次、「生きがい・社会参加」が26.2%、「健康維持」が22.7%、「時間的余裕」が12.4%と前年度同様の順位になっています。

また、就業率は、受注への迅速な対応や会員への就業提供等を促進した結果、72.1%と前年度の71.6%から0.5ポイント増加しました。

登録会員が希望する職群（構成比）の順序は、前年度同様に、①一般作業（33.4%）、②施設管理（20.1%）、③事務整理（13.2%）となっています。

◇過去3年間の推移

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会員数（人）	10,095	10,037	10,295
対前年度比（%）	（94.5）	（99.4）	（102.5）
男女比（男/女）	68.2/31.8	68.0/32.0	67.1/32.9
契約金額（千円）	3,848,230	3,863,176	4,074,758
対前年度比（%）	（98.0）	（100.4）	（105.5）
就業率（%）	73.6	71.6	72.1

◇過去5年間の新規登録会員数（単位：人）

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
2,243	2,129	2,002	2,128	2,317

(2) 契約金額と件数

25年度の「公共・外郭団体」については、引き続き、契約の方法や内容変更、指定管理者制度の実施等の影響で横浜市及び外郭団体からの受注が大幅に減少することが予測されました。しかしながら、7月の参院選、8月の市長選に係る選挙公報配布業務等の受託があったことや指定管理者等への積極的な会員の就業確保等を図った結果、受注件数・契約金額は、微増ではありますが増加となりました。

また、「民間企業」については、景気回復等の兆しの中、前年度同様に一部の業種を中心に堅調な受注増加があり、「個人家庭」については、福祉・家事サービスや植木の手入れ等、除草等において、発注者ニーズに応えるため、会員への積極的な就業促進等を図った結果、契約金額5億2,703万円余（対前年度比：+0.3%）と増加となりました。

25年度全体の契約金額は40億7,475万円余（対前年度比：+5.5%）、受注件数が56,128件（前年度対比：+2.2%）と前年度対比実績の増加となりました。

次に、職群別に受注件数を見ると、「渉外」職群については、前年度対比（+14.3%）と選挙公報配布等により大幅な増加となりましたが、他の職群については、前年度に比べ若干の実績増加となりました。

なお、契約金額は、選挙公報等の配布業務増や景気回復を反映した堅調な受注増加により、前年度対比（+5.5%）となりました。

（参 考）

◇発注先別契約実績

発注先	平成 24 年度				平成 25 年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)
公共	212,786	5.5	1,332	2.4	239,407	5.9	112.5	1,334	2.4	100.2
外郭	308,708	8.0	1,723	3.2	309,422	7.6	100.2	1,773	3.2	102.9
民間	2,816,267	72.9	25,198	45.9	2,998,896	73.6	106.5	26,645	47.4	105.7
個人	525,415	13.6	26,640	48.5	527,033	12.9	100.3	26,376	47.0	99.0
合計	3,863,176	100.0	54,893	100.0	4,074,758	100.0	105.5	56,128	100.0	102.2

◇職群別契約実績

職群	平成 24 年度				平成 25 年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)
専門技術	39,546	1.0	440	0.8	42,771	1.0	108.2	464	0.8	105.5
技 能	421,332	10.9	12,566	22.9	443,264	10.9	105.2	12,727	22.7	101.3
事務整理	159,441	4.2	1,744	3.2	166,141	4.1	104.2	1,785	3.2	102.4
施設管理	710,465	18.4	3,836	7.0	723,638	17.7	101.9	3,857	6.9	100.5
渉 外	422,590	10.9	2,133	3.9	482,931	11.9	114.3	2,436	4.3	114.2
一般作業	1,876,120	48.6	25,161	45.8	1,981,493	48.6	105.6	25,682	45.8	102.1
サービス	233,682	6.0	9,013	16.4	234,520	5.8	100.4	9,177	16.3	101.8
合計	3,863,176	100.0	54,893	100.0	4,074,758	100.0	105.5	56,128	100.0	102.2

2 受注開拓活動の推進（就業機会の拡大と多様なニーズへの対応）

（1）就業機会の拡大

公共・外郭団体における契約内容の見直しや指定管理者制度への移行拡大、また民間企業においても人員の効率化など景気回復の兆しの中にあっても、引き続き、受注減少が予測され、受注開拓や会員増強等を積極的に図るため、より一層の本部と事務所との連携強化のもと役職員も含めた顧客先への訪問PR活動等を実施し、受注獲得・拡大に向け取り組んでまいりました。

24年度末に本部・事務所職員による「課題別プロジェクト」で策定した「受注開拓・会員増強」、「地域貢献型事業への展開（家事サービス）」、「植木・除草業務の整備」、「本部・事務所連携強化」等の「実施基本計画書」に基づき、事業推進に取り組みました。

なお、これらの取組の中、地域貢献型事業として、25年10月に高齢者世帯対象に概ね60分以内で完了できる家事支援を行う家事簡易サービス「通称：よこはまシルバー架け橋サービス」を緑区の一部地域で開始しました。今後は、緑事務所所管内での家事簡易サービスの拡充を図ってまいります。

また、6月から9月にかけて、広報よこはま区版（12区）への受注開拓の広告を掲載するとともに、引き続き、シルバー人材センターの活用促進PR、特に特命随意契約による発注要請等を実施や各事務所長等による各区役所・ケアプラザ・区社協等への訪問・受注開拓活動等を行いました。

さらに、11月に実施した「センター利用等に関するニーズ調査」の結果分析に基づき、役職員と事業推進員及び福祉・家事援助コーディネーターとが連携を取りながら、新規・既存の事業所等への訪問受注活動を実施に向けて、次年度に繋げてまいります。

（2）事業推進員活動（全事務所で6人配置）

事業推進員活動は、25年度も引き続き、本部・事務所の「受注拡大活動計画」に基づき、各事務所に配置した事業推進員6人により、新規・既存顧客への受注拡大や「顧客満足度・ニーズ調査」の分析結果を踏まえた営業戦略の中で取組内容を重点化し、受注開拓とともに、会員募集のPR活動等を行いました。

◇事業推進員活動の実績

年 度	訪問件数	受注件数	受注金額	就業実人員	就業延人員
平成24年度	64,845件	4,811件	139,520,512円	6,745人	24,428人日
平成25年度	74,391件	4,457件	127,822,680円	6,119人	20,364人日

※訪問件数はチラシ配布を含む

（3）地域貢献型家事援助等簡易サービスへの展開

よこはまシルバー架け橋サービス ～緑区の一部地域でスタート～

地域貢献的な活動の一環として、平成25年10月1日から、横浜市緑区の一部地域（中山町・寺山町・台村町・森の台・上山1～3丁目・新治町・三保町・青砥町・北八朔町・西八朔町・小山町の11町）限定による高齢者世帯（概ね65歳以上）を対象に、センター会員による日常の暮らしに欠かせない買い物や外出時の付添い、洗濯物干し等、家事全般の内、概ね最大60分以内に完了できる家事の支援を行い、依頼者の快適な住環境等、生活の資質向上の維持を図るための短時間サービスを「有償ボランティア」で提供しています。

◇サービスの料金（1件につき）

作業時間	基本料金
30分以内	500円
30分以上60分以内	1,000円

(4) 企画提案方式事業の推進（国の高齢者就業機会確保事業等に係る補助事業）

・横浜市中期4か年計画の「環境最先端都市戦略」の取組

磯子事務所「ISO14001(環境)・エコアクション21 認証取得等の支援活動事業の展開支援活動開拓員を6名配置、金沢工業団地の事業所等を中心に訪問活動を実施しました。

25年6月～7月には、建築設計会社と「業務改善のための支援業務」の契約を締結し、業務管理等の支援活動を行いました。

・同4か年計画の「未来の人材子ども戦略」・「100万人の健康づくり戦略」の取組

6事務所において、コーディネーターを配置（1事務所2名）し、子育て・高齢者の世帯を対象にサポート事業を展開しました。

各事務所のコーディネーターが発注者と会員とのニーズ相談等を行い、個人家庭などの子育て・高齢者等支援のきめ細かな推進を図った結果、「福祉・家事サービス」については、受注件数が9,138件（対前年度比：+4.5%）、契約金額が2億2,867万円余（対前年度比：+0.5%）の増加となりました。

(5) センターの利用等に関するニーズ調査の実施

新たなニーズの把握と掘り起こしを目的に、「センターの利用等に関するニーズ調査」を隔年実施し、家庭は1,000人、事業所は450件（福祉施設39件）から回答を得ました。

センターの認知度については、家庭は89.0%が「名前を聞いたことがあり、利用したことがある」、事業所は47.1%が「名前も業務内容も知っている」と答えています。

また、今後の利用意向では、家庭の88.4%が将来的にセンターを利用したいと回答しているのに対して、事業所は「是非利用したい・検討したい」が236社52.4%に留まっていることから、今後、さらなる事業所のニーズに応えられる体制づくり等の構築が重要と考えられます。なお、本調査の結果は、今後の事業運営に活用していきます。

調査概要と主な調査結果

	家庭	事業所
調査時期	平成25年11月15日～11月19日	平成25年11月22日～12月16日
調査方法	シンクタンクがインターネットリサーチサービスの保有しているアンケートモニターによる調査	シンクタンクが保有する企業情報の中から横浜市内にある企業に調査票を郵送による調査
調査対象	横浜市内の30代～50代は各250人 60代は210人、70代以上は40人 (計)1,000人(男女比は50:50)	中小企業を中心に調査、規模(従業員数300人以下283社、100人以下1,574社、福祉施設143施設(計)2,000件)
回収数(率)	1,000人(100.0%)	450件/22.5%(437件/21.8%)
主な調査結果 ()は23年度数値	(1)センターの認知度 ・利用と聞いたことがある:89.0%(75.3%) ・名前も聞いたことがない:11.0%(24.7%) ・年齢層として70歳以上の認知度高い。 (2)センターを知ったきっかけ ・広報よこはま:67.6%(55.8%) ・友人・知人の口コミ:34.0%(38.3%) ・ポスター・チラシ:16.5%(13.4%) 今後のPRとしては、やはり広報よこはまを中心にして、ポスター・チラシでの啓発活動や会員の口コミによるPR活動も有効。	(1)センターの認知度 ・名前も業務内容も知っている:47.1%(69.5%) ・名前も業務内容も知っていて利用したこともある:20.0%(26.3%) (2)センターを知ったきっかけ ・友人・知人等身近な人に聞いて:15.3%(15.3%) ・広報よこはま:21.1%(17.8%) ・社内の人に聞いて:10.4%(12.4%) (3)今後の利用意向 ・是非利用したい:45社10.0%(10.3%)

<p>(3) 今後の利用意向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用・検討してみたい:88.4% (85.9%) <p>(4) センター望む仕事の分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の掃除・炊事:43.3% (38.4%) ・植木の手入れ・除草:41.7% (33.1%) ・菓の受け取りや買い物、通院の付き添いなど高齢者に関する仕事 47.7%と高い割合を占めており、今後も高齢者家庭からの需要が増加することが予想されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に利用を検討したい:191社 42.4% (31.4%) <p>(4) 発注したい仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業的な仕事:50.2% (49.7%) と最も多い <p>(5) センターへの要望・期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応できる仕事の情報提供:35.8% (17.2%) ・定年退職後の社会参加支援の連携:11.3% (9.6%) ・雇用情勢や人材育成など情報交換の場を持ちたい:14.7% (7.6%) となっており、今後センターと情報の共有を図りたいと考えている企業が増えていることが窺える。
---	---

(6) 会員によるPR活動

前年度に引き続き、区民まつり等地域イベントに参加し、事業紹介や受注拡大のためのチラシの配布等を行い、センター事業のPRを行いました。

また、会員が自主的に知人、友人への呼びかけ等による会員登録の啓発を行うとともに、会員の不足している職種（特に技能・軽作業・清掃・家事）や地域など、事務所毎に特徴を持ったPRチラシの作成・配布を実施し、センターの普及啓発に努めました。

(7) 独自事業の実施

独自事業は、会員の培った専門的技術や技能を講習会等の講師として役立て、併せて広く市民に還元していくことを目的に実施しています。

25年度についても引き続き、人気の高い中高年英語教室、IT講習等を開催するとともに、会員の自主的な運営による講習会として強化を図りました。

また、例年好評の「親子ふれあい教室」は「そば打ち」と「パンづくり」を開催しました。

◇独自事業の実施状況（会員講師及び運営委員：44人）

	教室名	年間開催数(回)	延参加人員(人)	会場
①	実践書道	72	1,374	緑事務所
②	中高年英語教室	561	5,571	戸塚事務所
③	パンづくり (初級)	20	250	ワークプラザ調理室
	〃 (中級)	10	163	
④	写真の撮り方 (初級)	11	162	ワークプラザ研修室
	〃 (中級)	11	167	
⑤	そば打ち (初級)	16	268	ワークプラザ調理室
	〃 (中級)	12	164	
⑥	IT講習	62	646	ワークプラザ研修室
⑦	オカリナ教室	25	304	ワークプラザ研修室
⑧	夏休み親子ふれあい教室			ワークプラザ調理室
	そば打ち	1	30	
	パンづくり	1	26	
	合計	802	9,125	

(8) ホームページ等の活用

ホームページ掲載情報等の更新と「はまさポ」と連携したページの充実を図った結果、電子メールによる仕事の発注依頼として、今年度 56 件（前年度 45 件）の発注申込件数があり、センターの事業PR、受注拡大等を図りました。

また、全国シルバー人材センター事業協会のインターネットによる受注システム「シルバーしごとネット」により、25 年度 17 件（前年度 42 件）の受注がありました。

仕事内容としては、結婚式招待状の毛筆宛名書き、植木剪定、除草、室内塗装、アパート通路・階段の清掃、デイサービスでの調理補助・趣味活動援助等です。

3 会員増強等の就業体制の強化（会員の確保と資質の向上）

(1) 会員の増強

発注者ニーズの多様化に的確かつ迅速に対応していくため、登録説明会時に登録する会員が希望する職種やスキルの把握をきめ細かく行うとともに、本部・事務所に常設した「就業相談コーナー」において、主に未就業会員の就業相談等を行い、就業の提供や会員の就業ニーズに対し、的確な対応に努め、ミスマッチの解消を図るとともに、ローテーション就業等によるワークシェアリングを図りました。

なお、新たに会員登録を希望する高齢者に対し、本部・事務所で開催する「会員登録説明会」を希望に応じた期日や会場の柔軟な対応によって入会促進を図ったほか、会員による口コミ、講習会の開催、ホームページ等を通じての会員募集の啓発活動を行いました。

また、団塊の世代や会員が不足している地域・職種を中心とした会員募集チラシ配布や女性会員の入会促進をするとともに、6 月から 9 月にかけて、広報よこはま区版（12 区）への会員募集の広告掲載を行い会員の増強に努めました。

(2) 質の高いサービスを提供するための研修会・講習会の充実開催

発注者の満足度向上と会員の資質・技能向上のため、次の講習・研修を開催しました。

会員のスキルアップにつながるセンター主催の技能講習会として、実施内容等の拡充・整備を図り、需要の多い緑地管理、DIY、ハウスクリーニング講習会の開催をしました。

また、昨年度に引き続き、新規及び事故発生会員を対象にした神奈川県造園業協会理事・教育研修委員による植木業務の「安全啓発研修会」及び神奈川県労働局長登録教習機関「キャタピラー教習所（株）相模教習センター」講師による安全衛生教育として、チェーンソー・刈払機業務の「電動工具安全啓発研修会」（受講生に技能講習修了証を発行）を開催し、受講義務化による安全啓発も併せて図りました。

さらに、クレームやトラブルを防止するため、外部の専門講師による「接遇研修会」を開催し、会員就業時のマナーとサービス向上等を図りました。多くの会員の参加を得るために、会場は本部と神奈川事務所、緑事務所で開催した結果、5 日間で 372 人が受講しました。

◇講習会の実施状況

	講習名	実施期間	日数	参加人数(人)	会場
技能	○緑地管理（春期）	5/15～5/21	6	24	(株)横浜シーサイトライン
	○緑地管理（秋期）	11/12～11/19	6	19	〃
	○DIY	6/6～6/7	2	25	ワークプラザ 作業室・調理室
家事	ハウスクリーニング	10/7・10/18	2	44	ワークプラザ作業室
合計			16	112	

※ ○印は会員が講師を務めた講習

◇研修会の実施状況

	講習名	実施期間	日数	参加人数(人)	会 場
植 木	植木業務安全啓発	1/16	1	27	ワークプラザ作業室
	電動工具安全啓発	2/20～2/21	2	19	北部第一水再生センター
除 草	刈払機安全啓発	3/7	1	22	環境活動支援センター
接 遇	接遇研修 (A)	11/8	1	100	ウイリングよこはま 研修室
	接遇研修 (B)	11/25	1	93	〃
	接遇研修 (C)	11/26	1	51	老人福祉センター うらしま荘
	接遇研修 (D)	11/28	1	69	中山地区センター
	接遇研修 (E)	11/29	1	59	ウイリングよこはま 研修室
	小 計			5	372
合 計			9	440	

(3) シニアワークプログラム地域事業(国の委託事業)への開催協力

神奈川県シルバー人材センター連合会との連携により、高齢者を対象にした雇用・就業に係る地域ニーズに即した講習会開催等による就職支援を行いました。

《シニアワークプログラム地域事業講習会の実施状況》

講習名	開催期間	日数	参加人数(人)	会 場
マンション管理業務	9/10(火)～10/1(火)	14	30	NPO 法人マンション管理支援協会 (神奈川県栄町)
介護補助員養成	12/12(木)～12/19(木)	5	15	(株)ニチイ学館 (ワークプラザ作業室等)

(4) 就業機会提供等の推進

発注者等のご理解のもと、仕事の分かち合い等を目的としたワークシェアリングの推進やひとりでも多くの会員に就業機会の提供(ローテーションによる就業等)をすることで、適正就業の推進を図りました。

(5) 就業機会提供等の推進

本部・事務所に「就業相談コーナー」を常設し、未就業会員を中心にきめ細かい相談を通じて、就業機会提供を図りました。

(6) 地域班・職群班活動の推進（会員相互のネットワーク強化）

センター事業を効果的・効率的に展開するため、会員組織による地域班、職群班及び班活動の役割の強化を図っていくことが重要になっております。区または連合自治組織単位等での地域貢献事業（家事簡易サービス・ワンコイン）の整備・実施に向けて、会員が主体的に組織運営を行う「地域班・職群班」の構築に向けた役割等検討を引き続き行いました。

○ 職群班活動の推進（会員相互のネットワーク）

安全管理や技能向上、トラブルの防止等を中心に研修・情報交換の場として、会員懇談会を開催

◇植木・除草職群班活動状況

事務所	職群班懇談会	開催日	参加人数(人)	会場
神奈川	植木班・除草班合同	3/10(月)	38	神奈川事務所交流室
南	植木班・除草班合同	5/17(金)	43	南事務所交流室
	〃	9/4(水)	55	
	植木班(午前)	2/18(火)	37	
	除草班(午後)		14	
磯子	除草班	2/21(金)	15	磯子事務所交流室
	植木班	3/13(木)	41	
緑	除草班	5/17(金)	12	緑事務所交流室
		3/27(木)	15	
	植木班	8/29(木)	29	
		2/21(金)	25	
戸塚	植木班・除草班合同	8/27(火)	66	戸塚事務所交流室
		2/25(火)	75	
合 計			465	

※南事務所 5/17(金)懇談会については、重篤事故防止の徹底強化を図るため開催

≪磯子事務所主催・除草刈払機安全講習会の開催≫（会員講師開催）

講習内容	開催日	参加人数(人)	会場
除草刈払機の取扱い方等について	9/27(金)	10	海洋研究開発機構 (金沢区昭和町)

4 普及啓発活動の推進

(1) 広報媒体を活用したPR

ミニコミ誌への記事掲載を活用し、センター事業のPRを図りました。

◇ ミニコミ誌の活用

- ・タウンニュース「港南区版」に第30回創作展会、第7回カブトムシ幼虫採集体験学習、こども☆おさらい教室の開催記事掲載

(2) ポスターの掲出とパンフレット・リーフレット等の配布

前年度と同様に、センター事業の普及・啓発を目的に、市営バスや市営地下鉄の駅構内、市内公共施設等にPR用ポスターと市営地下鉄の車内でのLED掲出をしました。

また、総合パンフレット及び会員募集用リーフレット・家庭向けリーフレットを事業推進員のPR活動等で活用するとともに、地域や職種に限定した会員募集用リーフレットやチラシの配布を行いました。

なお、神奈川県シルバー人材センター連合会による神奈川県下のセンター（相鉄沿線及び近辺の横浜、大和、座間、海老名、藤沢、厚木、相模原、川崎）の就業確保・充実を図る目的で、相模鉄道の子車内に受注開拓ポスターを掲出しました。（掲出期間：平成24年10月～平成26年10月までの2年間、掲出部数：152枚・456車両の内の152車両）

◇ポスター及び市営地下鉄車内LEDの掲出状況

掲出先	掲出期間	掲出箇所・部数
地下鉄駅	平成25年10月14日（月）～10月20日（日）	32駅36箇所
地下鉄車内	〃（LED掲出）	37駅222輛666箇所
市バス車内	平成25年10月15日（火）～10月21日（月）	全車両900部
各区役所等	〃	100

◇パンフレット・リーフレット印刷等部数

内容	部数
総合案内パンフレット	8,600部
受注開拓用家庭向けリーフレット	43,000部
会員募集用リーフレット	36,000部

(3) インターネットの活用

ホームページを更新し、センターのしくみ、「はまさポ」の情報提供、会員登録や仕事発注の方法、会員への就業提供（お仕事情報等）、技能講習や独自事業の開催状況、ボランティア活動の実施状況等を紹介し、分かりやすい広報活動に努めました。

(4) ワンストップサービス「はまさポ」の推進

団塊の世代を含めた高齢者に対して、豊富な仕事経験を活かせるライフスタイルの実践や多様な働き方等への支援について、就業機会の提供や多様な就業ニーズ等の情報収集や提供を行う「ワークサポート情報プラザよこはま」（通称：はまさポ）の運営に取り組みました。主な取り組みとしては、高齢年者の様々なニーズに対応した働き方・市民活動・起業などに関する横浜市内で実施されている豊富な情報を収集、利用者の希望に合った事業や機関・団体の情報等を紹介しました。

◇平成25年度実績

事業名	来場者・相談者数（男性／女性）	サイトアクセス数
ワークサポート情報プラザよこはま （通称：はまさポ）	25人（16人／9人）	25,527件 （月平均2,127件）

(5) 区民まつり等地域イベントへの参加

各区で開催される区民まつり等に参加し、センター会員のもつ多彩な技術・技能の実演発表や手芸品バザー、PRグッズの配布等を通じて、受注開拓や会員募集等センター事業のPR活動に努めました。

◇区民まつり等地域イベントへの参加状況（事業PR用のリーフレット、テッシュ等配布）

事務所	開催区	イベント名	開催日	会場	出展内容
神奈川	神奈川	うらしま祭り	9/16(月)	うらしま荘	包丁研ぎ
	港北	ふれあいまつり	10/19(土)	新横浜駅前公園	PRチラシ等配布
南	西	37回区民まつり	11/3(日)	戸部公園	風船バルーン
	中	ハローよこはま2012	10/13(日)	横浜公園日本大通り	ロープ結び実演等
保土ヶ谷	保土ヶ谷	区民バザール	10/19(土)	保土ヶ谷公園他	パネルクイズ等
磯子	金沢	金沢いきいきフェスタ	10/19(土)	海の公園	骨強度測定会等
緑	緑	ふれあいまつり	12/1(日)	ハーモニーみどり	手芸品販売、パード
	青葉	青葉区民まつり	11/3(日)	青葉区合同庁舎	カービング展示等
戸塚	戸塚	ふれあい区民まつり	11/3(日)	東戸塚小学校	折り紙教室
	栄	栄区民まつり	11/2(土)	本郷中学校	PRチラシ等配布

※なお、神奈川区「うらしま祭り」は、台風のため開催中止。

- 神奈川県シルバー人材センター連合会及び神奈川県下12センターの実行委員会主催による「シルバー祭り」を横浜駅東口の新都市プラザ地下2階で26年3月8日(土)に開催し、会員及び就業機会の拡大を図るため、各センターの事業紹介、相談コーナーや会員実演・交流コーナーを設けました。

当センターは、会員によるアトラクション(ロープ結び、ペンシルバルーン、マジック)を披露し、集客を高め入場者約1,200人が参加され、事業PRを図りました。

5 福祉・家事援助サービス業務の推進

(1) 福祉・家事援助サービスコーディネーターの活動

前年度に引き続き、福祉・家事援助サービスや子育て・高齢者支援業務等について、企画提案方式事業(地域子育て・高齢者サポート事業)と連携して、当該分野の受注拡大に向けた体制整備を図るため、福祉・家事援助サービスコーディネーターを各事務所に2人、計12人を配置しました。

なお、サービス業務の適切な就業実施に向けて、「福祉・家事援助サービスコーディネーター用マニュアル」によるコーディネーター業務の取り組みを強化徹底し、発注者のニーズに迅速・的確に応えるため、就業会員とのきめ細かな調整に努めるとともに、相談対応や事務所単位での懇談会の開催等、会員への就業促進等強化を図りました。

その結果、前年度に比べ、受注件数、契約金額、就業延日人員については、増加となりました。

また、本部主催の福祉家事援助サービスコーディネーター会議(毎月1回開催)、並びにコーディネーターが中心となった事務所単位の会員懇談会を開催しました。

なお、会員懇談会では、「福祉・家事援助サービス就業会員用マニュアル」によるサービス業務に係る注意事項等について研修を行い、理解周知を徹底するとともに、就業情報の共有や就業体制の強化を図りました。

◇福祉・家事援助サービスの実績

区 分		受注件数 (件)	契約金額 (千円)	就業延日人員 (人日)	主な受注例
福 祉	平成 24 年度	6 6 2	9 1, 7 3 6	2 0, 4 4 5	軽易な介護
	平成 25 年度	7 4 7	8 9, 2 9 8	1 9, 8 4 3	付添い、送迎等
家 事	平成 24 年度	8, 0 8 0	1 3 5, 6 1 9	4 0, 3 2 8	家庭内清掃、炊事、
	平成 25 年度	8, 3 9 1	1 3 9, 3 7 3	4 1, 5 2 0	洗濯、子育て支援等
合 計	平成 24 年度	8, 7 4 2	2 2 7, 3 5 5	6 0, 7 7 3	
	平成 25 年度	9, 1 3 8	2 2 8, 6 7 1	6 1, 3 6 3	
対前年度比		1 0 4. 5%	1 0 0. 5%	1 0 0. 9%	

(2) 子育て支援

企画提案方式事業（地域子育てサポート事業）の推進として、地域子育て支援拠点との連携等情報交換を図り、保育園等の運営補助、共働き世帯等、子育て支援を必要とする団体や家庭に対し、地域社会の支援として、会員の豊かな経験等を活かしたサービスの提供に努めました。

(3) 介護保険対象外業務の支援

引き続き、介護保険の適用とならない高齢者世帯に対する家事簡易サービスや家事援助の受注開拓のため、職員や事業推進員による各区役所、地域包括支援センター、民間福祉施設、自治会町内会等の訪問活動（チラシ配架等）やコーディネーターによる個人宅等へのリーフレットの配布などを行いました。

6 安全管理対策の強化

(1) 安全管理委員会活動

就業時及び就業場所に向う途上における「事故ゼロ」を目指し、センター役職員・会員で構成する本部・支部安全管理委員会が中心となって、会員就業現場の巡回視察、事故防止に向けた安全啓発活動を行いました。特に植木の手入れ・刈払機の研修会開催や事故の多いマンション清掃等の事故分析に基づく再発防止対策等に取り組みました。

なお、役職員、安全管理委員が、毎年開催している神奈川県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業研修会」に参加し、転倒・転落・交通安全教育について、受講しました。

◇安全管理委員会活動状況

事務所	委員会	巡回視察	安全講習会等の実施内容
本 部	2 回	1 回	○ 交通安全（運転適性検査・交通安全講習）
支 部	7 5 回	2 0 9 回	○ 植木・除草（電動工具の安全操作啓発等）

※本部：安全就業月間活動の一環として、役員による植木剪定の就業現場を視察

《安全研修会の参加状況》 神奈川県シルバー人材センター連合会主催「安全就業研修会」

研修内容	開催日	参加人数(人)	会場
①「墜落、転落災害等の防止について」 中央労働災害防止協会	8/28(水)	11	かながわ労働 プラザ会議室
②「交通安全教育について」 (自転車・バイク・自動車・歩行) 神奈川県警察本部交通部交通総務課		(役職員 5 人及び保士ヶ 谷・磯子・緑・戸塚事務 所の安全管理委員 6 人)	

(2) 安全講習会・研修会の開催

前年度に引き続き、植木・除草（刈払機）分野の新規及び事故発生会員を対象にした「安全啓発研修会」及びチェーンソー・刈払機使用に係る「電動工具安全啓発研修会」を実施しました。なお、この研修会を受講義務化として、植木・除草（刈払機）作業の安全啓発の徹底を図りました。

また、交通災害防止を目的に、自動車の「運転適性検査」、神奈川県警による事務所単位の「交通安全講習会」を開催し、発生事故として多い就業途上（歩行中）での事故防止対策等の講義を実施しました。

(3) 安全就業に向けた取組強化

前年度に引き続き、事務所単位での植木剪定班会議（職群班会議）開催や就業先への巡回視察時等により、作業時のヘルメットや安全ベルトの装着、梯子の安全な取扱い方等の遵守徹底を呼びかけました。

また、安全啓発チラシの配布、会報誌への啓発記事掲載、職群別会員懇談会等で事故発生状況報告等を行い、事故防止に向けた安全啓発を実施するとともに、事務所での就業先への巡回視察及び事故発生会員による「事故報告書」の提出の義務化等を実施し、再発防止と事故発生件数の減少に努めました。

特に事故の多い植木・除草（刈払機）の作業対応には、就業前の安全確認のための「植木作業前安全確認チェック表」と「刈払機作業手順書」を配布し、就業前の養生、機械点検等を義務づけ、安全管理の実践強化を図りました。

さらに、危機管理体制の構築として、マニュアル及び休日・祝日の就業会員に係る事故発生時等（緊急連絡等）の措置対応強化ため、管理職による休日・祝日の連絡体制（携帯電話の携行）の徹底を図りました。

(4) 事故発生状況

25 年度は安全就業の徹底強化に向け就業先への巡回視察、事故発生会員に対する「事故報告書」の提出の義務化や植木・除草（刈払機）の安全啓発等に取り組みましたが、5 月に植木剪定会員の重篤事故が発生し、その後会員のチェーンソーの所有・使用状況の把握と事故防止啓発の徹底を行ってまいりました。

事故発生件数は、前年度に比べ「傷害事故」は 13 件増加しました。傷害事故の中で、特に植木、スーパー内での作業、清掃作業や就業途上中の事故が多く、事故発生率の高い職種等の巡回視察活動や就業途上（躓き転倒防止等）の安全啓発の一層の強化とともに、重篤事故防止を徹底するため、植木剪定会員に安全啓発チラシの送付等行い再発防止を図りました。

なお、賠償責任事故は前年度に比べ 4 件となっていますが、特に植木手入れ・除草の刈払機による事故等が依然と多く、傷害と賠償を合わせた合計は 64 件（前年度比+9 件）となりました。

◇事故発生状況（件）／過去5年間

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会員傷害事故	39	34	29	31	44
賠償責任事故	27	15	24	24	20
合計	66	49	53	55	64

(5) シルバー保険への加入

会員の就業時や就業現場途上時における万一の事故に備え、傷害・賠償責任事故を補償するシルバー人材センター総合保険に加入しました。

7 法令遵守の徹底

(1) 適正就業（法令遵守）の推進

新たに受注した仕事や既存の就業先での就業形態（請負・委任等）について調査・検討し、就業実態に即した契約内容の見直し等により、適正な就業を図ってまいりました。

また、平成26年6月に新業務システムの導入に向けた契約書類等の整備を行うとともに、就業会員に適正就業の周知徹底を図りました。

(2) 個人情報の保護

引き続き、会員に対する就業時の個人情報の保護・管理等の徹底について、接遇研修会や各事務所で職群別会員懇談会の開催を通じて個人情報保護に関する説明と理解徹底を図るとともに、新規登録希望者や会員の個人情報の保護強化に取り組みました。

また、当センターが保有する情報の管理や顧客先に提供する就業会員に関する情報についても、適正な保護と管理を徹底するとともに、就業に関連する法令等について、職員及び会員への遵守徹底を図りました。

なお、センターのホームページ等を通じて、経営及び事業の実績など、経営情報の積極的な開示を行いました。

8 一般労働者派遣事業・無料職業紹介事業の推進

(1) 一般労働者派遣事業の推進（神奈川県シルバー人材センター連合会からの委任事務として実施）

請負・委任や無料職業紹介事業の取り組みに併せて、高年齢者の多様な働き方に対応した雇用・就業機会の確保として、高齢法の改正でシルバー人材センター事業の特例により認められた一般労働者派遣事業を展開し、適正就業等の推進を図りました。

なお、仕事内容は、7月参議選と8月市長選挙に係る期日前投票等の人材派遣やスーパー内での作業、機械清掃、資材の出庫等です。

◇過去3年間の推移

項目／年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
契約件数（前年度対比）	6件（75.0%）	11件（183.3%）	31件（281.8%）
契約実人員（前年度対比）	26人（130.0%）	260人（1,000.0%）	237人（91.2%）
契約金額（前年度対比）	17,132,243円（116.9%）	26,338,415円（153.7%）	49,074,345円（186.3%）

※25年度選挙に係る契約実績（契約件数：7件、派遣実人員：189人、契約金額：14,207,529円）

(2) 無料職業紹介事業の実施

臨時的・短期的及び軽易な業務に係わる雇用を希望する高年齢退職者のための無料職業紹介事業を実施しました。なお、25年度は7月参院選と8月市長選に係る期日前投票事務等への求人紹介をした結果、前年度の実績より増加しました。

◇平成25度の実績

・求人延事業所数 93件（前年度64件） ・就職人数 195人（前年度74人）

9 会員の自主活動への支援

(1) 会員の自主的なボランティア活動の支援

会員が永年培った技術や技能を活かした地域への貢献並びに会員の主体的なボランティア活動への支援を行いました。ボランティアの内容は、「演芸」、「福祉」、「観光ガイド」、「街の美化清掃」の4つの分野で活動を実施し、福祉施設、公共的施設等を中心に、延べ640人が活動しました。

◇グループ別活動実績

グループ名		主な活動場所	参加延人数
演芸	楽器演奏	地域ケアプラザ、老人福祉施設、地区センター、病院等	227
福祉	介護補助	大豆戸・本牧原・万騎が原・不老町・東戸塚地域ケアプラザ	203
	そば打ち	地域ケアプラザ等	6
観光ガイド		景勝金沢八景の歴史と伊藤博文別邸見学、山手外人墓地を訪ねて、高峰譲吉物語（夏期講習）、中区の歴史的建造物めぐり 旧東海道歴史散策保土ヶ谷宿、「千年の森」鶴見総持寺めぐり	31
街の美化清掃		横浜駅東口周辺、みなとみらい21地区等	173
延参加会員数計			640

(2) 会員交流会、創作展会への支援

◇事務所での開催状況

事務所 \ 内容	会員交流会 開催数（回）	サークル 団体数	サークル名
神奈川	10	6	探訪、写真、版画、ビデオ、水彩画 カラオケ
南	12	5	探訪、書道、カラオケ(2)、相撲甚句
保土ヶ谷	5	5	書道、俳句、囲碁、パソコン、手芸
磯子	12	4	パソコン、彫刻、書道、俳句
緑	10	8	探訪、写真、ボードゲーム、俳句 墨絵、手芸、社交ダンス、パソコン
戸塚	11	4	探訪、書道、絵画、パソコン
合計	60	32	

◇「創作展」の開催

書道、絵画、写真、工芸等全事務所の同好会員で構成される「創作展」は、記念となる第30回目の開催にあたり、林市長より特別出展と出品回数20回以上の会員4人に功労賞として、表彰状が贈呈され、855人の来場者を得て盛会に開催されました。

◇第30回創作展

会 期	平成26年1月8日（水）～1月13日（月）の6日間
会 場	横浜市技能文化会館 2階多目的ホール
出展会員数	112人（他1団体）
出展作品数	120点

(3) 会報誌の発行

会報「シルバーセンター」は、会員編集委員の主体的な企画、取材及び編集活動の成果を掲載して定期発行を行っていますが、25年度もセンター事業の進捗状況等や会員の諸活動を紹介する情報誌として、全会員、発注者、区役所、地区センター等関係機関へ配布しました。

なお、会報誌は年3回（4月・9月・1月）発行し、企業広告の有料広告掲載を募り、印刷経費等の軽減を図りました。

◇会報の発行実績

内容／号数	第95号	第96号	第97号
発行月	平成25年4月	平成25年9月	平成26年1月
発行部数	15,000部	15,000部	15,000部

※なお、会報第96号(9月発行)から、各ケアプラザに事業推進員が訪問により配布

10 財政基盤の強化と業務執行体制の見直し

(1) 「基本計画2016」第2期（平成24年度～平成28年度の5年間）の執行管理

「基本計画2016」第2期（2012年～2016年の5年間）については、横浜市が策定した「中期4か年計画」（2010年～2013年）や横浜市との「第3期協約」（2011年～2013年の3年間）との整合（連動）を図りながら、数値目標等達成に向け、取組んでまいりました。

(2) 公益財団法人への適正な運営等の推進

より公益目的の実現に努めることとし、個々の事業を通じて高年齢者の生きがいの充実や福祉の増進を図るとともに、活力ある地域づくりに寄与していく事業基盤を強化してまいりました。

(3) 経営基盤の確立と「年会費」制度・事務費率（10%）の推進

さらに厳しい財政事情から、引き続き、事業費・管理費に係る経費、職員の人員体制等の見直し等により経費節減を努めるとともに、事務費（10%）及び年会費（1,200円／年額）の制度を推進し、自主的・自立的な財政基盤の確立等に取り組みました。

また、業務システムの更新に伴う職員によるプロジェクトを25年5月に立ち上げ、企画立案等検討・整備を図り、より効果的・効率的な事務改善等に取り組みました。

◇本部・事務所概要

事務所名	所在地	担当区
本部	港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー13階	統括
神奈川	神奈川区立町20-1 老人福祉センター横浜市うらしま荘2階	鶴見・神奈川・港北
南	南区睦町1-15-15 睦町市街地住宅2階	西・中・南・港南
保土ヶ谷	保土ヶ谷区星川1-4-10 ハイツリヴァスター1階	保土ヶ谷・旭・瀬谷
磯子	磯子区洋光台5-7-5	磯子・金沢
緑	緑区中山町413-4 ハーモニーみどり2階	緑・青葉・都筑
戸塚	戸塚区矢部町1286-4	戸塚・栄・泉

11 評議員会・理事会の開催

平成25年度は、次のとおり評議員会、理事会を開催しました。

(1) 評議員会

月 日	場 所	議 案 内 容
平成25年度第1回 評議員会 平成25年6月21日	シルバー人材センター 本部研修室	第1号議案 平成24年度事業報告について 第2号議案 平成24年度決算について
平成25年度第2回 評議員会 平成26年3月27日	シルバー人材センター 本部研修室	第1号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター定款の一部変更について 第2号議案 理事の選任について

(2) 理事会

月 日	場 所	議 案 内 容
平成25年度第1回 理事会 平成25年4月18日	書面評決 (決議の省略による)	第1号議案 評議員候補者の推薦について
平成25年度第2回 理事会 平成25年6月7日	シルバー人材センター 本部研修室	第1号議案 平成24年度事業報告について 第2号議案 平成24年度決算について 第3号議案 平成25年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
平成25年度第3回 理事会 平成25年7月5日	書面評決 (決議の省略による)	第1号議案 評議員候補者の推薦について
平成25年度第4回 理事会 平成25年11月12日	シルバー人材センター 本部作業室	第1号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター保土ヶ谷事務所の移転について

平成 25 年度第 5 回 理事会 平成 26 年 3 月 20 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 平成 25 年度補正予算について 第 2 号議案 平成 26 年度事業計画について 第 3 号議案 平成 26 年度収支予算について 第 4 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター定款の一部変更について 第 5 号議案 平成 25 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
--	---------------------	---

(3) 評議員及び役員 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

ア 評議員

役 職	氏 名	現 任 期※
評 議 員	塚 原 良 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	小 勝 俊 郎	平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
	久 保 田 仁	平成 25 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	難 波 一 尚	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	佐 藤 信 男	平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日
	志 村 一 郎	平成 25 年 9 月 6 日～平成 28 年度
評 議 員	芳 賀 宏 江	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	杉 山 義 行	平成 24 年 5 月 30 日～平成 28 年度
評 議 員	西 森 由 紀 子	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	豊 田 洋 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	岡 田 輝 彦	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	光 田 清 隆	平成 24 年 5 月 16 日～平成 25 年 3 月 31 日
	牧 野 孝 一	平成 25 年 5 月 16 日～平成 28 年度

※評議員の任期：選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時まで）

イ 役員

役 職	氏 名	現 任 期※
理事長（代表理事）	守 屋 直	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
常務理事(代表理事)	川 口 昇	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	畠 山 滋	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	阪 間 育 男	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	公 野 武 久	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	小 田 泰 司	平成 24 年 5 月 30 日～平成 26 年度
理 事	吉 野 明	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	明 田 千 春	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	加 藤 愛 子	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	川 島 勝 夫	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
監 事	奥 津 勉	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
監 事	関 根 宏 而	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度

※理事の任期：選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した理事の補欠として選任された理
事の任期は、退任した理事の任期の満了する時まで）

※監事の任期：選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した監事の補欠として選任された監
事の任期は、退任した監事の任期の満了する時まで）

12 関係機関との連絡調整

センターの円滑な事業運営を図るため、横浜市等行政関係機関、全国シルバー人材センター
事業協会、神奈川県シルバー人材センター連合会等との連携を深め、事業の円滑な運営に努め
ました。